A:一人でできる　B:助言や助けがあればできる　C:できない　D:未経験

項目		評価項目	評価ポイント	卒1						卒2				卒3			
				6月		9月		2月		9月		2月		9月		2月	
				自	他	自	他	自	他	自	他	自	他	自	他	自	他
臨床実践能力Ⅱ	清潔	2) 目的･必要物品･方法･注意事項を理解し援助ができる	＊洗髪														
			＊清拭＜テクニカルガイド12＞														
			＊口腔ケア＜テクニカルガイド11＞														
			＊陰部洗浄＜テクニカルガイド14＞														
	褥瘡	1) 褥瘡の好発部位を理解し予防に関する計画立案ができる	＊計画書･発生報告書が記載できる														
			＊処置方法がわかる														
			＊悪化状態がわかり報告ができる														
		2)早期発見と適切な処置ができる	＊リスク評価ができる														
			＊処置方法がわかる														
			＊悪化した状態がわかり、それに合わせた報告ができる														
	呼吸	1) 呼吸状態の観察ができる	＊異常な呼吸(種類)がわかる														
			＊異常な呼吸状態の判断ができる														
		2) 呼吸困難時の安楽な体位がわかる	＊ファーラー位･起座位の理解														
		3) 酸素吸入の準備･実施中の観察ができる	＊必要物品･手順の理解 ＜テクニカルガイド　49＞														
			＊医師の指示により酸素流量調節ができる														
			＊サチュレーションのモニタリングができる ＊ネブライザーの実施 ＜テクニカルガイド　47＞														
		4) 酸素ボンベの取り扱いができる	＊ボンベの交換ができる ＊酸素残量の確認ができる ＊患者様移動時の取り扱いができる														
		5) アンビューバックを使用できる	＊使用目的･方法がわかり実施できる (マスクの装着･酸素チューブの装着)														
		6) 吸引の準備･実施･後始末ができる ＜テクニカルガイド　48＞	＊目的がわかる ＊必要物品がわかる ＊患者様に合ったチューブを選択できる														
		a. 吸引時の注意点がわかる	＊吸引圧を理解している ＊チューブ挿入の長さがわかる ＊吸引方法がわかる ＊清潔操作の必要性を理解している														
		b. 吸引前後の観察ができる	＊バイタルサイン･呼吸音の観察ができる (聴診法･呼吸音の変化)														
	循環	1) 循環動態の観察ができる	＊血圧測定時の聴診法･触診法がわかる ＊血圧･脈拍･尿･検査値の異常がわかる														